

比が10を大きく割って6とか5になると、根に接したとき障害を招きやすいといわれます。

「種類」「窒素」「C/N比」をよく見よう

店に並ぶ堆肥には、同じ材料でも熟度はさまざまなものがあることに注意してください。同じく「発酵鶏糞」などと書かれていても、袋の肥料取締法にもとづく表示の「種類」を見ると「堆肥」というものと「動物の排泄物」というものがあります。成分を見ると、例えば、前者が窒素2%以下

でC/N比10以上なのに対し、後者は窒素が3%と高くC/N比は7と低く、分解・発酵が進んでいない製品といえます。

また、「成分」の表示には、メーカーによって「現物当たり」と「乾物当たり」があります。同じく窒素3%と書かれていても、前者だと堆肥の重さの3%が窒素分ですが、後者の場合は水分を除いた部分の3%ですからグンと少なくなります。この例の場合、現物表示で窒素を3%も含む製品は、肥料効果が大きいといえます。

堆肥の熟度は、右の図のように匂いや触感でも分かります。袋の「種類」「成分」の数字とあわせて判断しましょう。



同じ鶏糞堆肥のようにもいろいろな製品がある



堆肥の熟度を、匂いで、触感で見分ける